

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		解放子ども会学習会開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 財津 幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名 後藤 章博
	基本事業	71	人権尊重についての理解の促進			所属班	啓発教育班	(内線) 2427
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 8 コスト削減優先度評価結果 : 3
		1	10	5	4	10861		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 50 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	解放子ども会(小・中・高校生)学習会の開催。(小・中・高校生)昭和50年頃、同和教育推進教員(当時)の配置により、部落差別の解消を目的に始まった。対象は、解放子ども会会員(当初は、旧対象地域の子どもたち)であった。解放学習や教科学習を主におこなっていた。現在では、少数ではあるが、旧対象地域外の子どもたちも参加をし、あらゆる差別の学習を行っている。
【業務の流れ】	5月の開講式の際に小・中・高校の先生へ学習会講師の委嘱を行う。開講式前までに解放子ども会会員、講師の委嘱を行う先生へ保険をかける。8月は小中学生キャンプリーダー研修、キャンプに参加する。年3回(4ヶ月に1度)学習会講師へ謝金を支払う。学習会開講式、閉講式に出席する。開講式時には、委嘱状交付があるので、事前に委嘱状の準備をする。その他、学習会に必要な用品の購入を行う。(随時)
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	議会より、学習会を行うことが逆差別につながらないようにとの意見あり。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
解放子ども会学習会、人権教育子ども学習会を開催した。(小学校・・・週1回、中学校・・・人権教育子ども学習会 週1回、解放子ども会学習会、週2回 高校・・・週1回)	学習会の開催と、8月は解放子ども会小学生・中学生キャンプを実施する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ ア 学習会開催回数 回	イ 学習会参加者数(延べ人数) 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
解放子ども会会員(児童・生徒)	⇒ ア 解放子ども会会員数 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
差別に負けない力をつけることができる。	⇒ ア 差別を見抜く力を身につけた人の数 人 ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 差別を見抜く力を身につける事が差別に負けない力をつけることにつながるため。	

(2) 各指標・総事業費の推移

単位		19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア 回	234	321	200	185	200	200	200	
	イ 人	1207	1285	1200	1210	1200	1200	1200	
⑤ 対象指標	ア 人	64	50	65	47	65	65	65	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人	58	50	65	47	65	65	50	
	イ								
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	2,845	2,489	3,141	1,740	2,595	2,595	2,595
	(A) 事業費計	千円	2,845	2,489	3,141	1,740	2,595	2,595	2,595
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円	216	239	253	143	286	286	
	正規職員従事人数	人	4	5	4	5	4	4	
	延べ業務時間	時間	496	319	320	440	320	320	
(B)人件費計	千円	1,969	1,276	1,274	1,751	1,274	1,274	1,274	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,814	3,765	4,415	3,491	3,869	3,869	3,869	

総トータルコスト	全体計画	年度
～		
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0
		0

谷志市

事務事業名	解放子ども会学習会開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

参加した子ども達は、部落問題について学習を深め、差別を跳ね返す力を身につけることが出来た。キャンプでも、仲間づくりやみんなで協力して作業する事等いろいろな事を学ぶ事が出来たが、子どもの数がだんだん減ってきており、学習会の参加人数も徐々に減少しつつある。
今後、子ども達が参加しやすいよう内容を考えていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 子どもの数が少なくなっている事を考え、子ども達が多く参加できるように考えていかなければならない。																							
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 学習会の内容の充実が子どもたちの参加の増や理解度を高めていくと思われる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						